

犬山の学校給食を考えよう!
「野菜120gを使ったメニュー」
管理栄養学科2年がプレゼンテーション

「野菜を120g摂取できる」献立の作成に取り組み、市内の管理栄養士・栄養教諭の先生に向けて、プレゼンテーションを行いました。現場で働いている方ならではの視点で調理工程を考慮した貴重な助言をいただくことができ、とても勉強になりました。この給食が、子どもたちに届く日がより一層楽しみになりました。人間生活科学部 管理栄養学科2年 松島玲実さん 水沢第一高等学校(岩手県)出身



Student's Supporter として参加した
Teacher's English Camp
で英語力を再確認!

海外旅行に行く前に英語力を試そうと、犬山市教育委員会が主催するTeacher's English Campに参加しました。ネイティブスピーカー講師による「早押し・英単語クイズ、ヨガ、ジャグリング、写真講座」で楽しく充実した時間を過ごし、セブ島旅行も大満喫。カナダ研修以来の海外旅行でしたが、この経験が英語力の上達につながりました。経済学部4年 大竹秀幸さん 滝高等学校(愛知県)出身



きぎょうCollabo 犬山つなぐ子ども食堂④
学生ボランティアが「食育活動」

1年生の時に参加した「ふしみ子ども食堂」との出会いが「犬山つなぐ子ども食堂」へとつながり、後輩たちの参加で、子どもたちとの交流に時間を割くことができるようになりました。参加してくれる子どもたちも徐々に増え、調理のお手伝いも積極的にしてくれるようになりました。



ピーマンの肉詰め準備OK!

当日届く食材でメニューを考える実践力を養いながら、今後の目標である「食育活動」にも挑戦。献立食材がどこから来て、どんな特徴があり、健康にどう役立つのかを子どもたちに伝えることにも積極的に取り組み、自分自身のさらなる成長を目指したいと思っています。

「人と人がつながる場所!」犬山つなぐ子ども食堂



笑顔で「ごちそうさま!」
おいしいカレーを食べて元気いっぱい!



今日のメニュー
冬瓜のサラダ&レモンドレッシング
フライドポテト&チキン・ニンジンチップス
カレーライス(手前:子ども用&大人用)



彩りも栄養も、食感も楽しめる「野菜たっぷりの簡単キッシュ」

ドラマ・映画を演劇に変える「喜劇集団」
有頂天演劇Collaborations
唯一無二を目指して活動中!

高校生時代の演劇仲間と「有頂天演劇Collaborations」を旗揚げし、わかりやすく面白い演劇スタイルで年2回の公演を行っています。私は演出・脚本・運営担当ですが、マーケティングやブランディングなど、経営学部で学んだ知識を劇団運営に活かすことができました。さらに「ポジベーションゼミ」で学ぶ仲間とさまざまなチャレンジをすることで、感動を共有しています。



「ONCE UPON A TIME!!!」のキャスト(左端 加藤さん)

有頂天演劇Collaborations 公式Twitter
https://twitter.com/AV_Collaboration ココをチェック!!

愛知県歯科医師会主催
第9回もっと噛んで歯ツピーレシピコンテスト
地産地消部門で「銀賞」受賞

キャベツ・トマト・ブロッコリー・名古屋コーチンの卵で赤・黄・緑色と彩りを良くし、大きめに切ったキャベツの食感を楽しみながら、よく噛んで食べるレシピを考え応募しました。その結果、「銀賞」を受賞。表彰式には祖父母も出席して喜びを分かち合いました。また、他の受賞者のレシピからも良い刺激を受けました。

人間生活科学部 管理栄養学科1年 稲井亜美花さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

誰もが居心地の良い「学び空間」へ!
「名古屋経済大学犬山キャンパス」リノベーション

名古屋経済大学では「キャンパス改革推進室」を立ち上げ、キャンパス全体改革のためのマスタープランを策定しています。

まず第1弾として、2020年度中に1号館を耐震改修、およびリノベーションします。改修された1号館には快適なラーニングコーナーが配置される予定です。1号館の改修を皮切りに、キャンパス全体について、学生・教職員にとってより居心地の良い空間となるようにしていきます。詳細に関しては随時お知らせしていく予定です。

まるでカフェのようなコミュニケーションスペース
「ラーニングコーナー」



「ラーニングコーナー(イメージ図)」

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、112年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大い制度を選択することが可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.60について、ご意見や感想などございましたら、入証広報部(右記連絡先)までお聞かせください。



MEIKEI Festival 第17回 名経祭「百花繚乱」

台風の影響で開催日が10月12日(土)・13日(日)から、11月30日(土)・12月1日(日)に延期に…。この日のために充電し、パワーアップした学生たちの歓声がキャンパス中に響きわたり、お祭りムードも最高潮。ステージには「軽音楽部」を中心に、さまざまなパフォーマーが登場。オイシイ! たのしい! 模擬店巡りも紹介します。



名経祭さんぽ Performance!



●「後夜祭」手筒花火 & ミュージックスターマイン



ワクワク、ドキドキピンゴー! その時を待つ…

ピンゴゲーム 一番人気の「PS4」は彼の手に…

Voice 01 模擬店 de 見つけた

熱々! 自慢の出汁とごろごろ具材で **模擬店グランプリ優勝**

人気投票No.1で模擬店グランプリ「優勝」できました。勝因は、どの店にも負けない「自慢の出汁!」自信はありましたが、嬉しかったですね。麻雀サークルのメンバーも20名を超え積極的に活動しています。

豚汁 ●麻雀サークル
法学部3年 青木優一郎さん
愛知県立守山高専学校出身

麻雀サークルメンバーと優勝を喜ぶ青木さん(左から2番目)

Voice 02 ミニ国際村 de 見つけた

ウズベキスタンの味と **笑顔でおもてなし!**

故郷の味を紹介しようと、「UZBEKISTAN」を出店。サムサ(ミートパイ)、シャシリク(肉の串焼き)、プロフ(ウズベキスタンの伝統的なピラフ)をたくさんの人に味わっていただくことができました。

●UZBEKISTAN
ウズベキスタン出身 留学生有志

Voice 03 “ステージ裏” de 見つけた

大学祭を企画&運営 **名経祭実行委員会**から!

2度目の実行委員で、今年は委員長の大役。約50名の体験型プロジェクトメンバーと、実行委員、自治会の協力で「第17回名経祭」が開催できました。日程の延期などのアクシデントもあり、残念ながら来場者数は昨年比で大幅ダウン。ですがステージは、軽音楽部が盛り上げてくれましたし、体験型プロジェクトメンバーが積極的に企画と運営に携わってくれたことは、心強かったですね。大人数になれば別の苦労もありますが、コミュニケーション能力はパワーアップ。次年度に向けた「新しい挑戦」にご期待ください。

●名経祭実行委員会委員長
法学部2年 松芝遼さん 愛知県立成章高等学校出身

体験型プロジェクト(F)「大学祭」
●射的&ボーリング ●ジュース ●甲冑隊(犬山武将隊 凛)

たくさんの笑顔に出会って宝物を手に入れた!

体験型プロジェクトのメンバーとの協働により企画力がアップ!!

少数精鋭! ●名経祭実行委員 (左から辻那夢さん、松芝遼さん、水谷晃将さん、恒川千佳さん)

教育保育 「小学5年社会科模擬授業」&「夏期保育」をプロデュース(附属市幼幼稚園)で学生たちが活躍

教育保育学科の「夏のオープンキャンパス」では、学生が大活躍。7月21日(日)は、小学校の先生を目指す前原ゼミ3年生が「君たちに何ができる?自然災害の被害を減らすために!」と題して、小学5年生の社会科の模擬授業を行いました。8月24日(土)は、保育者を目指す1・2年生が中心となり、附属市幼幼稚園で保育実践を行いました。「せんせい」を目指して学ぶ学生の姿は、参加者自身の近い将来と重なって見えたのではないのでしょうか。学生にはこの経験を今後の学びに活かしてほしいと願っています。(人間生活科学部 教育保育学科教授 関谷みほ)



授業をする田畑さん(後方右)

▲エビとカニのお面をつけて「エビカニクス」(年少)

◀おぼけが飛び出す「びっくり箱」(年中)

ゲーム「かもつれしや」(年長)

Voice **ドキドキ☆トラブルだらけの社会科模擬授業**

今回、小学校社会科の模擬授業をゼミの仲間2名と経験させていただきました。当日は予想を上回る約80名の高校生やその保護者の方々に参加していただき、緊張しましたが仲間の支えもあり無事に授業を終えることができました。この貴重な体験を活かして、どんな時も臨機応変に対応できる教員を目指したいと思います。

人間生活科学部 教育保育学科3年 田畑未来翔さん
三重県立四日市工業高等学校出身

Voice **準備不足を反省し、次に活かす**

夏休みに指導案を考え、附属幼稚園の先生方と話し合いながら、夏期保育の準備をしました。実際に保育を行うと、計画通りに進まないクラスもあって準備不足を反省しましたが、私たちは6月の実習経験を活かし、無事に保育を終えることができました。今回の夏期保育で子どもたちの喜ぶ姿を見ることができ、嬉しかったです。

人間生活科学部 教育保育学科2年 隈本榛香さん
誠信高等学校(愛知県)出身

経済・経営・法学部「社会科学系」体験授業



「SNSと著作権について」 憲法って何?「職業選択の自由について」

教育保育



3Dアートづくりにトライ!

管理栄養



お醤油ドレッシングづくり

オープンキャンパス参加者をおもてなし! 「スペシャルランチ」で学習成果をPR

管理栄養学科では、体験授業に参加いただいた皆さんに「スペシャルランチ」のおもてなし企画を実施しています。限られた予算内で栄養バランスはもちろん、見た目と美味しさが伝わる調理を学生が担当。アイデア満載のスペシャルランチは、毎回好評を博しています。

Voice **沖縄料理を詰めたランチボックス**

8月4日(日)は、沖縄出身の私たちが沖縄の郷土料理を詰めたランチボックスづくりを企画。だしをしっかり効かすことで塩分を控えめに調理し、食材の彩りでインスタ映えも狙った「沖縄の味」を紹介しました。約1ヶ月でレシピ作成から試作までを行い、苦労もありましたが「美味しかった」「また食べにきたい」と評価をいただき、今後の活動の励みになりました。

人間生活科学部
管理栄養学科3年 国仲結生さん、大屋美樹奈さん
管理栄養学科2年 大湾丈一郎さん
沖縄県立美里工業高等学校出身

オープンキャンパススペシャルランチ!

- 名古屋ご当地メニュー
「な・ご・や・め・し弁当」
ひつまぶし、すの揚げひたし、まアリン
やきとうもろこし、ひじきのサラダ
しょうが焼き



沖縄出身の同窓生が考案
「沖縄料理ランチボックス」
タコライス、フーチャンプル
アーサー汁、ニンジンシリシリ
モスク餅、生ハインアップル

●サポートメンバー
管理栄養学科2年 丹羽裕太さん
城南高等学校(岐阜県)出身

「沖縄を感じるレシピ」を企画/左から大湾さん、大屋さん、国仲さん

カナダ サイモン・フレイザー大学でのカナダ研修 ELI(English Language Institute)で英語づけの日々

カナダの多文化共生社会の歴史と現状を学び、実践的な英語の運用能力を身に付けることを目的とした1ヶ月に及ぶ「カナダ研修」を実施しています。事前研修から、現地でのフィールドワーク、帰国後の報告会に至るまで一つのプロジェクトとして行っています。習熟別度別クラスにおけるリーディングスキル・オーラルスキル・リスニングなど趣向を凝らした授業では、視覚に訴えかけ、ゲーム感覚で学べる「YouTube」を活用して学びます。英語力と自信を身に付けた学生たちは、帰国後も果敢なチャレンジを続けていきます。



サイモン・フレイザー大学での研修初日



首都ビクトリア「日帰り旅行」

Voice **カナダ研修の経験を経て度胸と自信が付き 日本でのチャレンジが楽しみに**

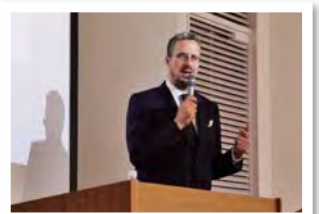
海外の文化への興味と、日本との違いを体感しようと「カナダ研修」に参加しました。授業はわかりやすく個性的で、英語に対するハードルが下がり、チャレンジを重ねるごとに度胸と自信をつけることができました。それはカナダの雄大な風景と大らかなでポジティブな国民性に影響を受けたせいだと思います。それぞれが、食品の精度や塩分濃度を測定した比較をまとめ、卒業研究へとつながる取り組みもでき、次のチャレンジが楽しみになってきました。



人間生活科学部 管理栄養学科3年
修了式の日の教室で 上田さん(左)と藤村さん(右)
上田 怜志さん 豊川高等学校(愛知県)出身
藤村 佑紀さん 愛知県立春日井商業高等学校出身

在名古屋カナダ領事による講演&意見交換会

今年度の夏期休暇からカナダのサイモン・フレイザー大学のEnglish Language and Culture(ELC)夏季プログラムに学生を派遣するための事前研修にシェニエ・ラサール在名古屋カナダ領事館領事をお招きして講演会「私が見た日本~2つの国で学んだこと~」が行われました。研修に参加する学生をはじめカナダに興味を持つ学生など約50名が参加。中には直接英語で質問する学生の姿も見られ、領事は学生たちと親しく交流され、激励の言葉をかけられました。また、領事は富岡仁副学長のもとを訪れ、本学の国際交流やカナダ短期研修について意見交換を行いました。今後も本学はカナダの大学との研究・教育交流をさらに進めていきます。



シェニエ・ラサール氏(在名古屋カナダ領事)

学内初!英語での「全学ゼミナール」開講

2019年度の後期には、「Introduction to Law and Society in Japan」という全学ゼミナールを開講しています。このゼミでは日本の法制度について、講義やディスカッションを全て英語で行っており、本学では初めての試みです。ゼミは中村真咲教授(法制史)、水島玲央准教授(憲法)、山田麻未准教授(租税法)、ウミリデノブ・アリシエル准教授(国際法)、瀧麻依子准教授(知的財産法)がオムニバス形式で担当しています。受講生は多くはないものの、カナダへの短期語学留学を経験した日本人学生や、ウズベキスタンからの留学生など、意欲的な学生たちが参加しています。このゼミを足がかりに、将来海外の大学への留学に関心を持ってもらえればと思います。



英語の講義に熱心に耳を傾ける学生たち

7年連続の参加! 天下の奇祭「石上げ祭」今年も全員で無事登頂

日本人学生やウズベキスタン・ネパール・ベトナム留学生と教職員33名が石上げ祭に参加し、猛暑の中頂上を目指しました。事前説明会では、「石上げ祭伝承保存会」の方々のご協力、祭の由来や歴史などの講義と模擬体験を実施。当日、学生たちは一丸となって大きなかけ声を上げながら、頂上までの険しい道を無事に登りきりました。日本の伝統文化が体験できるこうしたイベントに、本学は今後も積極的に参加していく予定です。



達成感いっぱい! 清々しい笑顔で記念撮影



犬山観光学生大使として観光地犬山市をPR

2年連続で「犬山観光学生大使」を押田真奈美さんと務めています。今年には下山優美さん、高木優花さんもメンバーに加わり、さまざまな土地を訪れて犬山のPR活動を行っています。11月には菊花大会が開催された名古屋城へ、12月はわん丸君と中京競馬場を訪問しました。沖縄から犬山市唯一の大学へ進学したご縁もあり、多くの方に犬山を知っていただきファンを増やせるよう、犬山のPR活動に取り組みたいと思います。

●2018・2019年度 犬山観光学生大使
人間生活科学部 管理栄養学科3年 大屋美樹奈さん
沖縄県立美里工業高等学校出身

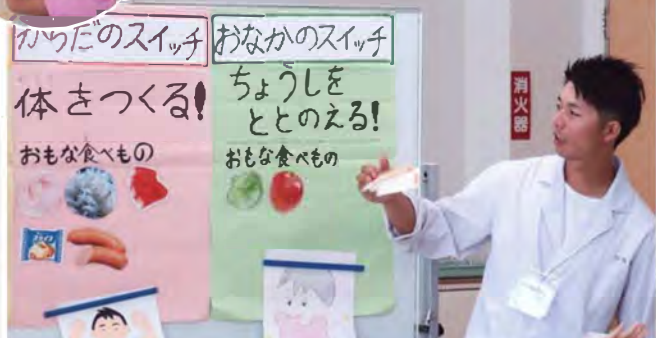


2019年度メンバー 左から 法学部4年 押田さん、大屋さん
人間生活科学部 管理栄養学科2年 下山さん、教育保育学科3年 高木さん

一作って学ぼうー「かんたん！朝食づくり」
ユニークなアイデアで楽しく食育活動を展開

子どもたちに栄養バランスを考えた朝食の大切さを伝えることを目的に、8月22日(木)、犬山市内の小学生を対象とした「かんたん！朝食づくり」を開催しました。会場となった犬山市立羽黒小学校には多くの児童が集まり、本学の学生から朝食の大切さについて話を聞き、朝食に関するクイズにもチャレンジしました。その後、児童たちは「3つのスイッチ」を考えながら自ら選んだ具材をパンに挟んだドッグサンドを作り、学生たちと一緒に会食。楽しみながらも貴重な食育活動を実施することができました。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子)



「朝食クイズ」朝食に大切な「3つ(あたま・からだ・おなか)のスイッチ」について何問正解できたかな？

市民館ゆうゆう学級「健康料理教室」で高齢期の栄養をサポート

8月21日(水)、小牧市民館「ゆうゆう学級(生涯学習)」が本学の調理実習室にて開催されました。

「ゆうゆう学級」とは一人ひとりが生きがいのある人生を送るために、高齢期の健康問題や現代社会に対応できる知識の習得や仲間づくりを目指して開講されるもので、今年度の「健康料理教室」には約40名の方にご参加いただきました。教室では「骨粗鬆症と高血圧の予防」をテーマにカルシウムやビタミンDの必要性や、それらが多く含まれる食材について話し、また「栄養バランスを考えより良く食べるにはどのようなことに気をつけるべきか」などをミニ講義にしてわかりやすく解説しました。

ミニ講義後の調理実習では、学生も調理サポーターとしてグループの中に入り、受講生の方々と和やかな雰囲気の中で交流ができました。大学での学びを地域の皆さんにお伝えできる良い機会になりました。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 持丸由香)



グループに分かれて調理スタート！受講者の方の手際も良さを勉強に...



カルシウムとビタミンDが豊富なメニュー

- ・炊飯器で炊く中華おこわ
- ・とうもろこしのスープ
- ・きくらげ入りトマトと卵の炒め物
- ・切り干し大根ときゅうりのごま酢和え

ボランティア活動

会場設営・本部スタッフ・名経大ブース
それぞれ 地域のイベント「楽田夏まつり」を盛り上げる

8月31日(土)、青塚古墳史跡公園を会場に「楽田夏まつり」が開催されました。本学からは児童文化サークル「いろは」が遊びコーナー「さかなつり」で出店。夕方には景品がなくなってしまうほどの人気を集めました。名経祭実行委員会は、チラシを手に「名経祭」をPR。経済学部学生研究部のメンバーは、まつりのスタッフとして、前日の準備から後片付けまでを担当し、地域のまつりをしっかりと支え、盛り上げました。



本部スタッフとして活躍する経済学部学生研究室



会場案内は法学部の学生が担当

「いろは」の部長小島さん(中央) 子どもたちに大人気の「さかなつり」どんなさかなが釣れたかな？

Voice

羽黒北子ども未来園での保育所体験

10月30日から3日間、「羽黒北子ども未来園」で観察実習をさせていただきました。その中で私は、子どもたちが友だちを気遣う姿に強い印象を受けました。グループ対抗ゲームの中で、人数合わせのために自分から名乗り出たり、使いたいおもちゃで喧嘩することもなく順番を決めたりするなど、4歳の子どもたちの大人びた一面をたくさん見ることができました。

人間生活科学部 教育保育学科1年 水野藍さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



教育保育の体験を通して学ぶ「実習基礎I・II」

本年度から始まった新カリキュラムの「実習基礎I・II」では、1年次から自分の適性を見つけ、専門性の高い学びや就職につなげるために、教育・保育現場での体験実習を中心とした授業を展開しています。学生は、附属市幼幼稚園、犬山市・小牧市保育園、犬山市立小学校で体験実習を行いました。現場の子どもたちや先生方から、実践的な学びを得ることができ、将来の進路選択に向けて、貴重な経験となりました。(人間生活科学部 教育保育学科教授 塚本敏浩)



小牧ジュニアセミナー 講座12「表現しよう」で子どもたちの自由な発想と表現力を伸ばす



「いろいろのほん」を読み聞かせ「フィンガーペインティング」のヒントを伝える

9月29日(日)、第1回目のセミナーを開催し、子どもたちに生活の中にあるピクトグラムについて知ってもらいました。10月20日(日)第2回のセミナーでは、学生とともにフィンガーペインティングを行いました。子どもたちは最初、おそろいのおそろい絵の具にこだわっていましたが、次第に大胆になり、手首まで絵の具をつけ、自分の世界を真剣に描くなど、子どもたちのワクワクした様子に、パワーや個性が発見できました。

身近な「ピクトグラム」って何かな？ (人間生活科学部 教育保育学科教授 多川則子)

名古屋市消費生活フェア★2019「エコホテル」をテーマに1年ぶりの企画出展

研究者も募集中！

11月9日(土)、経済学部学生研究室一同はエシカル消費※に関する「エコホテル」の研究報告を名古屋市消費生活フェア★2019で行いました。これは、認証済ホテルに宿泊するだけで環境保全に貢献できるといった仕組みです。また、ステージイベントでのクイズ大会も盛況、多くの方に「エコクイズ」に挑戦いただき、エコホテル、エシカル消費の啓発に貢献できたと思います。

Voice

環境にやさしい「エコホテル」を研究

名古屋市消費生活フェア★2019に「エコホテル」というテーマで参加させていただきました。あまり聞きなれない言葉に、多くの来場者が興味を持ってブースに立ち寄ってくださいました。ステージ発表では司会者としてクイズを出題させていただき、緊張しましたが、何とかやり遂げることができてホッとしました。

経済学部学生研究室 ●経済学部2年 加納大地さん
北海道立北海道富良野高等学校出身

「クイズ！エコホテル!!」の司会者として活躍する加納さん



環境に優しい「エコホテル」をクイズとパネルで紹介

※エシカル(ethical)は倫理的という意味。
エシカル消費とは人や社会、環境に配慮した製品やサービスを選択して購入、消費すること。

学びを広げ深めるための、近隣小学校との連携による「小学校授業見学」
新たな気づきと成長を促す現場体験演習

小学校教諭を目指す学生たちが、今年度も近隣小学校のご協力をいただき11月13日(水)に犬山市立楽田小学校、20日(水)に小牧市立本庄小学校において、授業の参観をさせていただきました。教育実習を終え、教えることの難しさや楽しさを体験し、学生たちの子どもたちを見る目も教員目線に変わりつつあります。

そんな中、新学習指導要領の主旨を踏まえた授業実践や豊かな表情で学び合う子どもたちの様子を参観させていただいたこの経験は、一人ひとりの学生にとって、学びをさらに広げ深めるとも貴重な機会となりました。(人間生活科学部 教育保育学科特任教授 前原 宏一)



創作活動に取り組む(楽田小学校) 学び合う活動を見学(本庄小学校)

連携小学校での授業見学(参観)
● 犬山市立楽田小学校 11月13日(水) ● 小牧市立本庄小学校 11月20日(水)

Voice 教職実践演習「小学校授業見学」
貴重な機会になった授業見学

近隣小学校で授業を見学し、教育実習では知ることができなかった授業方法を参観することができました。地域や学校、それぞれの先生方によって力を入れている点が違うため、授業や子どもたちの様子から学ぶことが多く、教員を目指す私にとっては知識を広げるとも貴重な機会となりました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 矢田裕亮さん
愛知県立春日井工業高等学校出身



Voice あつまれいぬやまっこ!
仲間と臨んだ「教職実践演習」でのミッション

4年生の集大成科目「教職実践演習」で「あつまれいぬやまっこ!」に参加し、グループに分かれてわなげとポンポン作りを行いました。どちらのグループも楽しくなる工夫をし、試行錯誤をしながら成功を目指しました。当日も仲間たちと協力して改善を行い、たくさんの子どもたちの笑顔を見ることができました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 横地政宏さん
滋賀県立彦根西高等学校出身



Voice こまキッズフェスタ2019
課題を見つけた「最後の学外活動」

直前まで準備に時間がかかり、不安の中で迎えた当日、多くの子どもたちと関わる中で、子ども理解の大切さだけでなく、保護者への気配りの必要性など、多くの改善点や保育者としての課題が見つかりました。4年間を共に過ごした仲間と作り上げた最後の学外活動は、大変でしたがとても楽しく、素敵で充実した時間になりました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 松榮里佳さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



「ミニ小物入れづくり」に真剣に取り組む子どもたち

第21回あつまれいぬやまっこ! うきうき大行進
わなげとポンポン作りに笑顔と歓声

11月10日(日)、「あつまれいぬやまっこ!」に保育者を目指す4年生13名が参加しました。このイベントは、犬山市と地域の子どもの関わる団体が協働で、子どもの遊び場を提供するものです。教育保育学科は、わなげとポンポン作りの2つの遊び場を設けました。記録更新のために何度もチャレンジする子ども、じっくり作り上げる子ども、保護者の方と楽しみながら参加してくれる子どもなど、たくさんの子どもの出会うことができました。(人間生活科学部 教育保育学科教授 関谷みのぶ)



手作りポンポンできあがり! 「わなげあそび」よくできました!

13回目のこまキッズフェスタ2019
毎年恒例「きっずぱれっと in 小牧(名経大)」

11月9日(土)、「うれしい! たのしい! にっこり! あそび!」のテーマで、こまキッズフェスタ2019が小牧市の子ども会連絡協議会と児童館との共催で開かれました。会場は、自然物や廃材を使って作ることを楽しんだり、さまざまなゲームに挑戦する子どもたちで賑わいました。教育保育学科の4年生もさかなつりゲームと小物入れ作りのブースを担当。年齢の異なる子どもたちに合わせた声かけや援助が自然とできており、4年間の学びや保育実習の経験が生きていると感じました。

(人間生活科学部 教育保育学科特任教授 長江美津子)



「さかなつりゲーム」
時間内に何匹つれるかな?

管理栄養学科 充実の「管理栄養士国家試験対策」で合格率100%へ

管理栄養学科の国家試験対策では、「4年生全員受験・全員合格!」を目標に、年間を通じて学習段階に合わせた、さまざまな取り組みを行っています。特に4年生の前期には、国家試験問題の内容に添った学習、夏休みには国試過去問題の復習を行い、後期からは応用力をつけるための専門講義や全国模擬試験を実施し、国家試験本番へ向けての準備をしています。(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 山田貴史)

Voice 勉強に対する意欲が上がりました

試験の内容に合わせて先生が資料を作ってくださいるので、学習内容の理解がしやすく、勉強に対する意欲も上がりました。また、勉強方法で悩んだ時も先生が一人ひとりと向き合い、丁寧に対応をしてくださるので、自分の学習スケジュールも管理できるようになりました。勉強を持続するのが苦手な人も、きっと合格へつなげられると思います。



人間生活科学部 管理栄養学科4年 小駒春佳さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

国家試験対策講座の取り組み

- 国試対策講義
- 個別学習相談
- 全国模擬試験
- 夏期・冬期集中講義
- 定期実力確認テスト

教育保育学科「公務員(保育職)試験対策」で合格者増!!

2019年度「公務員(保育職)試験対策」

講座受講者
合格率 **75%**

合格市・町 (2018・2019年度)

- | | | |
|------|-------|-----|
| 名古屋市 | 北名古屋市 | 東浦町 |
| 犬山市 | 清須市 | 土岐市 |
| 小牧市 | 一宮市 | 焼津市 |
| 春日井市 | 大府市 | 富山市 |
| 江南市 | 大口町 | |



現在の「公務員(保育職)試験」の傾向は、「保育者として、実践の場でどれだけ自分の力が発揮できるか」を、問われる試験内容になっています。

そのため、保育の知識、技術だけでなく、「話す力」「聞く力」「コミュニケーション能力」など実践力を身に付けることにも力を注いでいます。

同じ進路を希望する仲間
同士、学びあい励まし合
いながら日々勉強に取り
組んでいます。



学生が読み聞かせをする様子

就活 Report 就職内定者報告

就職内定 地方公務員

公務員になりたい! その強い思いが叶う

私は勤務地にこだわりなく公務員になりたい、という強い思いがありました。そこで、より多くの市町村の公務員採用試験を受けることにしました。入学してから公務員講座の授業を受けていたため、勉強は少しずつ始めていましたが、エントリーシートは書いたことがありませんでした。

4年生になり、試験を受けるためのエントリーシートがなかなか書けない私に、先生や友人、家族が助言をくれました。試験に合格できたのは、多くの方々の支えがあったからだと思いつても感謝しています。

● 大口町役場(保育職)

人間生活科学部 教育保育学科4年 森彩子さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



就職内定 医療・福祉

妥協せず、自分の進みたい進路を目指す

大学での勉強や臨床実習を通して臨床栄養に携わりたいと思っていた私は、病院を軸に就職活動を行いました。病院は採用人数が少なく、既卒者限定の募集も多いです。若干名の募集に対して多くの見学者を見た時は挫けそうでしたが、諦めずに何度も面接練習を行い、苦手な数学の勉強にも力を入れました。面接では事前に自分の考えを整理しておいたため、自信をもって答えることができました。

就職活動は国家試験の勉強との両立が大変ですが、妥協せず自分の進みたい進路を目指すことが大切だと思いました。

● 藤田医科大学病院(管理栄養士)

人間生活科学部 管理栄養学科4年 前田こはるさん
岐阜県立東濃実業高等学校出身



就職内定 サービス

挑戦することの大切さを就職活動で学ぶ

私は、大学在学中に視野を広げておきたいと考え、1年かけて9ヶ国を旅しました。この経験でさまざまな文化への対応力を身につけることができ、いつか海外で仕事をしたいと思い始めました。そして業界を絞らず、あえて多彩な業界の説明会に参加し、面接を受けました。その甲斐があって、自分にはどの業界が合っているのかがわかるようになりました。

最後の決め手となったのは、面接官の方の雰囲気の良いことでした。少しでもその企業に興味があれば、説明会に出かけることをお勧めします。

●ジー・イー・コンサルタンツ株式会社
経済学部4年 楠孔次郎さん
啓新高等学校(福井県)出身



就職内定 金融・保険

積極的な姿勢が就職活動でプラスに働く

私は自己分析や業界研究を早めに行い、3年の秋頃からインターンシップや質問会に積極的に参加しました。事前に、参加する企業の下調べをしましたが、ネット情報だけではわからない部分が多く、実際に体験してみても理解できたことが多くありました。「金融業界の中で、なぜ証券業界に絞ったのか」「どの企業に入社したいのか」など、自分の気持ちも確認することができ、自信を持って面接に挑めました。後輩の皆さんも納得いく結果が得られるよう、積極的に行動してほしいと思います。

●豊証券株式会社
経済学部4年 辺土名里穂さん
沖縄県立球陽高等学校出身



就職内定 飲食・宿泊

早期インターンシップで、内定4社を獲得

私は2年の頃から、さまざまな業種のインターンシップに参加しました。早めに行動することで先方に自分の存在を知ってもらうことができ、役職を持った方々からも自分の名前を覚えてもらうことができました。結果として、他の学生よりも先手を打てたと思います。そして3年では興味のある業種に絞ってインターンシップに参加し、早期選考ルートで4社のうち3社の内定をいただきました。さらに4年では1社から内定をいただくことができました。

就職活動はできるだけ早めの行動がいいと実感しました。

●日本マクドナルド株式会社
経済学部4年 高岡俊平さん
愛知県立中村高等学校出身



就職内定 公務員

再挑戦した愛知県警察採用試験に無事合格

大学に入学し、就職活動について考える中で、高校時代に不合格となった愛知県警察にもう一度挑戦しようと考え、大学2年の頃から公務員試験対策の講義を受講しました。講義では、わからない問題を丁寧に教えていただき、早くから準備したこともあり、無事に合格することができました。愛知県警察に合格することができたのも、指導してくださったキャリアセンターの方、ゼミの先生、サポートしてくれた家族、友人たちのおかげです。

春からは、警察官としてより一層努力していきます。

●愛知県警察本部
経営学部4年 大口真穂さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

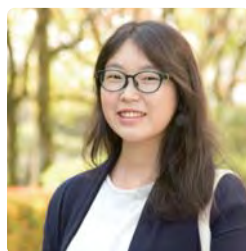


就職内定 公務員

自分の軸をもとに、積極的に企業説明会に参加

私はキャリア支援講座で聞いた「軸を持つ」という言葉が大切だと思い、最初に自分の軸を探しました。そして、その軸をもとに業界の分析をして、積極的に合同企業説明会に参加しました。説明会では、これまで知らなかった業界も知ることができ、選択肢を増やすことができました。また、同じ事務でも業界や企業によって仕事内容が異なることがわかり、参加してよかったと思っています。今後も、何事にも問題意識を持ち、課題解決に向けて行動できるよう努力し、警察組織を支える力を培っていきたくと思っています。

●岐阜県警察本部(警察事務)
経営学部4年 鈴木里佳さん
クラーク記念国際高等学校(岐阜県)出身

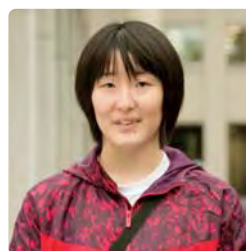


就職内定 製造

文武両道で、好きなことを仕事に

私は小学校4年生から始めたバスケットボールが大好きで、今も部活動を続けています。そして、常に目標を設定し一生懸命に取り組むことを継続した結果、好きなことを仕事にすることができました。しかし、部活動だけをやっていてもこの結果は得られなかったと思っています。まずは、自分が学生であることを忘れずに勉強を頑張り、単位を取得しておくことが必要です。そうすれば、上級生になっても部活動に集中することができ、試合や大会で結果を出すことができます。今回、改めて、文武両道の大切さを実感しました。

●トヨタ紡織株式会社
法学部4年 大橋瑠菜さん
岐阜女子高等学校(岐阜県)出身



就職内定 金融・保険

自ら積極的に行動する力が大切

就職活動では、自己PRと学生時代に打ち込んだことを絶対に聞かれます。私は、大学でサークルにも部活にも所属しなかったため、自分なりに他大学生に負けない話題作りをしました。また、合同企業説明会は時間が限られているので、事前に「どんな企業が参加してどんな職種を募集しているのか」「定時は何時で残業代は出るのか」などマイナビ・リクナビなどのアプリを使って調べてから、自分が働いてみたいと思う企業に話を聞きに行くことをお勧めします。新卒は人生で一度しかないのです。後悔のない就職活動をしてください。

●瀬戸信用金庫
法学部4年 押田真奈美さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



インターンシップ 製造

貴重な経験ができた10日間

私は建築会社である「株式会社広和木材」でのインターンシップを通じ、社員の方々から、家造りの大変さや働くことの意味を学びました。また、信頼を得ること、人との繋がりを大切に、お客様の幸せを実現するために日々前進することやそのために必要なことを教わりました。

学生である今だからこそ、「社会人とは？働くとは何か？」を考えるきっかけになり、「意味のある行動をとるために何が必要か」を考えることができました。

就職活動や社会人になった時、この経験をぜひ役立てたいと思っています。

●株式会社広和木材
法学部2年 石川由奈さん
静岡県立磐田北高等学校出身



インターンシップ 製造

貴重な経験ができたインターンシップ

私は「株式会社扶桑守口食品」のインターンシップに参加させていただきました。守口大根を酒粕に漬ける製造体験を通じ、製造は何度も繰り返し行う作業であること、技術が必要であることを知り、美味しい商品を提供するために、社員の方々の努力や苦勞をわずかながらも経験することができました。また、守口漬けの新商品の企画に挑戦しプレゼンを行った結果、商品化してもらえることになりました。

5日間という短い期間に多くのことを経験し、とても充実したインターンシップとなりました。

●株式会社扶桑守口食品
法学部2年 羽根蓮太さん
帝京長岡高等学校(新潟県)出身

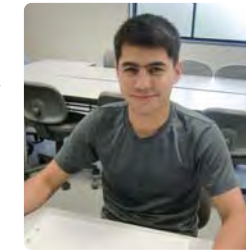


インターンシップ サービス

将来のキャリアを考えるきっかけになりました

私は「株式会社カケン」のインターンシップに参加させていただき、ビジネスマナーや社会人になった時に必要な日本語能力を身に付けることができました。また、CADの操作や図面の作成方法といった専門的な知識を学びながら、実際の業務を体験でき、日本の企業の風土やオフィスワークがどのような内容なのか幅広く学ぶことができました。さらにインターンシップを通じ、漠然としか考えていなかった将来のキャリアをしっかりと考えることができ、大変有意義で充実した5日間を過ごすことができました。

●株式会社カケン
経営学部2年 ウスモノフ・アスリディンさん
ウズベキスタン出身

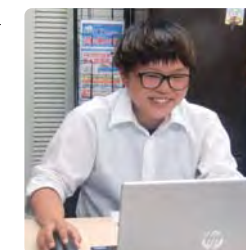


インターンシップ サービス

自分自身の弱点を理解できた5日間

私は、Webサイト制作を行っている「株式会社アルタ」で専門的な知識やマーケティングの意味を学び、私自身の弱みや足りない点を知ることができました。2年の早い時期にインターンシップに参加することで、学生のうちに弱みを強みにするために何を学び、経験するべきかがわかりました。また、就職活動に必要なことや自己分析に関する貴重な話も聞くことができ、「今後どう就職活動に取り組んでいくか」を考える機会となりました。

●株式会社アルタ
経済学部2年 ライ・ワンティーンさん
台湾出身



名経 Hot news 商品開発

インターンシップでの企画案が商品化へ

扶桑守口食品本社のインターンシップに参加した法学部2年の羽根蓮太さんが、課題として出された「地域の伝統食材守口漬けを使った商品の開発」にチャレンジ。その企画案が「もりぐちドッグ」として商品化され、直営店の「漬処 壽儀屋 犬山庵」で期間限定商品として販売されました。



幼稚園教諭・教育実習

やりがいを感じた保育者の仕事

平安幼稚園で6・11月の2回の実習で、4・3歳児・3歳未満児のクラスを担当しました。2週間という短い期間でしたが、子どもたちから声をかけてくれて信頼関係を築くことができ、とても嬉しかったです。さまざまな年齢・クラスで実習してみて感じたのは、年齢によって成長の違いがあり、先生方は年齢に合わせた口調や言葉を選んで声かけをしていることでした。そこにはどんな意図があり、援助・配慮をしていたのか、よく見て学ぶことができました。実習を通して、保育者の仕事にやりがいを感じ、保育者になりたい思いがより強くなりました。実習で学んだ貴重な経験を生かし、次の実習に繋げたいと思います。

[平安幼稚園(一宮市)]
人間生活科学部 教育保育学科2年 松本真佑さん
岡崎城西高等学校(愛知県)出身



保育所実習

異年齢保育を経験して

今回の保育所実習では、3・4・5歳児の異年齢保育を担当しました。子どもがお互いを思いやる姿や影響し合う様子など、年齢別保育とはまた違う子どもの様子を知ることができました。指導案を考える際には、どの年齢の子どもも楽しめる活動を模索し、理解しやすい伝え方を見つけることが必要となりました。そこから、子どもとの関わり方を見直し、新しい保育のとりえ方を学ぶことができました。

課題が多かった今回の実習でしたが、ポジティブに捉え、「魅力ある先生」になれるように幅広いスキルを身につけていきたいと思います。

[大門きらら保育園(富山県射水市)]
人間生活科学部 教育保育学科3年 清水唯さん
高岡向陵高等学校(富山県)出身



保育士・施設実習

関わり方を変えて、信頼関係を築く

私は、児童養護施設での実習を通して、さまざまな年齢の子どもたちと関わりました。そこで私が学んだことは、子どもの年齢や状況に応じて関わり方の工夫をすることです。今まで行った幼稚園や保育園の実習では、1~5歳の子どもたちに対して先生として関わっていましたが、今回は中学生や高校生に対して対等に接するように心がけました。その結果、子どもたちからも信頼されるようになり、また、さまざまな会話を行うことができ、とても充実した実習になりました。今後も保育士として、一人ひとりに合わせた援助の仕方を学んでいきたいと思います。

[児童養護施設(名古屋市)]
人間生活科学部 教育保育学科3年 西村静流さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



小学校教諭・教育実習

小学校教育実習で学んだこと

私は小学校の教育実習を通して、子どもの個性を生かした学級経営や授業づくりを行い、一人ひとりの子どもが活躍できる場面をつくる大切さを学びました。また、子どもたちのより良い成長のためには、教員として子どもたちの性格や得意なことを把握することが大切だと感じ、休み時間や給食の時間に積極的にコミュニケーションを取って子ども理解に努めました。

今回の実習で、教職は子どもの成長に関わることで、とてもやりがいのある職業だと強く感じました。この経験を活かし、さらに自分自身を磨いていきたいと思います。

[名古屋市立滝川小学校(名古屋市)]
人間生活科学部 教育保育学科4年 伊藤ひよりさん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身



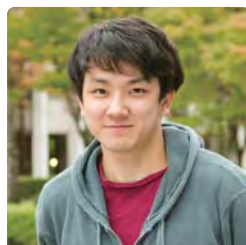
栄養教諭・教育実習

子どもたちとの信頼関係を育む

1週間という短い時間の中で、子どもたちから信頼してもらうことを重要視し、教育実習に臨みました。事前情報で小学校の授業は、「子どもたちと作り上げていくこと」だと耳にしていたので、最初からより多くの子どもたちとコミュニケーションを取ることを意識しました。休み時間に一緒に遊ぶことはもちろん、授業観察の中で悩んでいる子どもには、積極的に教えることの重要性も今回の実習で実感することができました。

親しんでもらえると共に学習面でも信頼されるようになり、授業に学ぶ姿勢で参加してくれる子どもたちを見て、教師としてやりがいを感じることができました。

[浜松市立葵が丘小学校(静岡県浜松市)]
人間生活科学部 管理栄養学科4年 北野竜矢さん
静岡県立浜松商業高等学校出身



保健所・臨地実習

母子保健についてさらに理解を深める

私は公衆栄養学分野の臨地実習のため、江南保健所、大口町・犬山市保健センターで1週間の実習を行いました。実習では保健所と保健センターの違いを学ぶとともに、乳幼児を連れてお母さんへの栄養指導や5ヶ月健診など実践的な体験を通して、母子保健について理解を深めることができました。また事前課題では、高齢者に向けた低栄養に関する啓発ポスターや朝食クイズを作成。実習先の管理栄養士の先生にアドバイスをいただき、対象者に合わせた媒体作りを学ぶことができました。

短い期間でしたが実習で学んだことを活かし、さらに勉学に励みたいと思います。

[愛知県江南保健所(江南市)]
人間生活科学部 管理栄養学科3年 村上友香乃さん
愛知県立豊橋商業高等学校出身



男子バスケットボール部

第90回東海学生1部リーグ3位!
インカレ出場!

女子バスケットボール部

第90回東海学生1部リーグ準優勝!
インカレ2年連続出場!!



左から大橋(剛)さん、木下さん、大橋(剛)さん

「個人賞」
●男子
3P王
橋本大嗣さん
リバウンド王
エマニエル・エライシア・オヌアブチさん
●女子
敢闘賞
大橋瑠菜さん
アシスト王
木下七美さん
優秀選手賞
大橋瑠菜さん

ラグビー部



東海学生Aリーグ(1部)で
活躍中!

女子サッカー部

東海学生女子
2部リーグ優勝
1部リーグへ昇格



男子サッカー部

東海学生
1部リーグで活躍中!



テニス部



東海リーグ参戦3年目!
女子3部リーグに昇格 男子4部リーグに昇格
第23回
東海学生チャレンジテニストーナメント大会
男子ダブルス 3位

「個人戦」 ●男子 中川智貴さん、野尻太陽さん、浦本大将さんペア

硬式野球部

愛知学生2部Bリーグ 6位

剣道部

東海学生剣道連盟
男子・女子 共に活躍中
男子個人
第67回全日本学生剣道選手権大会
出場「個人戦」 ●男子 祝迫佑紀さん、上遼太郎さん

「第66回日本栄養改善学会学術総会」と「第12回東海北陸国立病院栄養研究会」
2つの学会で管理栄養学科の学生2名が研究発表

9月5日(木)から7日(土)、「第66回日本栄養改善学会学術総会」が富山県民会館・富山国際会議場で開催され、4年生の砂山真琴さんが、「骨量減少における動脈硬化とビタミンKの関わり」というタイトルで口頭発表を行いました。この研究は、昨年度の大学祭で地域住民の骨粗鬆症健診として、骨密度測定及び動脈硬化検診、血圧脈波測定を行った結果をまとめたもので、堂々と発表し、質疑にもしっかりと応答していました。また、彼は4月から名古屋市立大学医学部医学研究科の修士課程(博士前期)に入学が決まりました。



「日本栄養改善学会」での砂山さん



「東海北陸国立病院栄養研究会」北野さんの発表

もう一方は10月5日(土)、名古屋学芸大学看護学部看護学科(旧名古屋医療センター)で開催された「第12回東海北陸国立病院栄養研究会」で4年生の北野竜矢さんが「プロテインの種類による筋肉量効果の違い」に

ついて口頭発表をしました。この研究は本学学生を対象に2種類のプロテインを実際に使用し、その効果の違いをまとめたもので、まさしくスポーツ栄養分野における研究です。7月には、4年生の藤井春香さんが中間報告として「第65回東海公衆衛生学会学術大会」にて示説発表したものの最終報告を行いました。発表前日までは緊張していた様子でしたが、発表中は質疑にも的確な応答ができ、素晴らしい発表となりました。(人間生活科学部 管理栄養学科教授 柴田清)

あいちサイエンスフェスティバル2019「サイエンストーク2019」
「地域に喜ばれる風力発電とは」をテーマに市民と専門家との対話イベント

10月30日(水)、あいちサイエンスフェスティバル2019サイエンストークが栄のS.Core(エスコア)で開催され、経済学部の本巢芽美准教授が登場しました。愛知県の科学祭「あいちサイエンスフェスティバル」で開催されるサイエンストークは市民と専門家との対話を目的としたイベントで、開催期間中はさまざまな分野の研究者がそれぞれの専門分野について話をします。風力発電施設を立地する際に



生じる地域問題を研究する本巢准教授は、風力発電は地球温暖化防止に役立つ一方で、立地地域には騒音や景観などの問題があり必ずしも良いことばかりではないと解説。その後、地域にとってもメリットとなる風力発電のあり方について参加者と意見交換をしました。

生じる地域問題を研究する本巢准教授は、風力発電は地球温暖化防止に役立つ一方で、立地地域には騒音や景観などの問題があり必ずしも良いことばかりではないと解説。その後、地域にとってもメリットとなる風力発電のあり方について参加者と意見交換をしました。



本巢准教授が登場「地域に喜ばれる風力発電とは」

閻連科(えん れんか)著・谷川毅訳
『黒い豚の毛、白い豚の毛(自選短篇集)』発刊

経営学部 谷川毅教授の新しい翻訳本『黒い豚の毛、白い豚の毛(自選短篇集)』が出版されました。

作者は今、中国で最もノーベル賞に近いと言われる閻連科氏。作者自身が選んだ農村を描いた作品が4篇、軍隊を舞台にした作品が3篇、宗教を題材にした作品が2篇、計9篇の作品が収められています。これまで閻連科氏の作品を読んだことのある人はもちろん、初めて読む人にとっても作者の世界観に引き込まれる魅力ある一冊となっています。



閻連科:著 谷川毅:翻訳(河出書房新社)

次世代エネルギーワークショップ
他大学の学生とホットな交流

大学でのさまざまな活動を経験する中で環境問題に興味を持った私は、次世代のエネルギー選択に関する知識をもっと身に付けたいと思い、今回のワークショップに参加しました。専門家の方々によるレクチャーを受けた後、全国から集まった大学生や大学院生、高専生に加え、海外からの留学生も交えて、現状における改善点について討議を行いました。

エネルギー問題に対する理解が深まっただけでなく、自分たち一人ひとりの問題であると捉えることができるようになりました。

法学部3年 洞口真奈美さん
聖カピタニオ女子高等学校(愛知県)出身



名古屋経済大学奨学基金「未来支援基金」

日頃より本学の教育をはじめとする諸活動にご理解いただくとともに多大なご協力を賜りまして心から御礼を申し上げます。

2018年5月から2019年9月までに、次の皆様方からご厚情を賜りました。ここにご芳名を報告いたしますとともに、ご寄附いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

2019年9月末日までの
寄附金累計額
27,143,000円
(目標額 1億円)

未来支援基金 寄附者「芳名録」

【個人】

2018年5月から2019年3月まで		2019年4月から2019年9月まで	
前澤 弘美	5,000円	佐分 晴夫	1,000,000円
前澤 道子	5,000円		

2018年5月から2019年3月まで		2019年4月から2019年9月まで	
張 瑞輝		石上 智規	
小川 大樹		近藤 久雄	
匿名希望 7名		匿名希望 22名	
小計	57,000円	小計	1,376,000円

【法人】

2019年4月から2019年9月まで	
丸善雄松堂	
2019年9月末日までの寄附金累計額	27,143,000円

未来支援基金寄附金の募金実績

(単位:円)

年度	内訳	寄附状況			基金運用利息	年度末累計数
		件数	金額	合計金額		
2018年3月31日 繰越額						35,475,354
2018年度	法人	—	—	—	302	1,502,302
	個人	24	242,000	242,000		
	その他	1	1,260,000	1,260,000		
2019年3月末現在						総合計 36,977,656

※この表の合計額 36,977,656円と上記記載の「2019年9月末日までの寄附金累計額 27,143,000円」の差額は、本学からの繰入金、2019年度寄附金、基金運用利息等となります。

未来支援基金奨学金の支給実績

(単位:円)

年度	支給者人数	支給額
2018年度	6名	3,770,000
2019年度	14名	8,600,000

[WEBからのお申込み方法]

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/kifu/kyoiku/application/>
へアクセスいただき「申し込みフォーム」にてお申し込みください。



左記のQRコードをスキャンして「申し込みフォーム」に必要事項をご記入ください。

[税法上の優遇措置]

<https://www.nagoya-ku.ac.jp/kifu/tax/>
へアクセスいただくか、下記記載の連絡先へお問い合わせください。



左記のQRコードをスキャンして「税法上の優遇措置」についてご確認ください。

学校法人市邨学園 法人本部

〒467-8558 名古屋市瑞穂区高田町三丁目28番地の1
[連絡先・寄附金担当] TEL 052-853-0047